



### 秋の夜長を楽しもう

#### 第1弾



秋といえば、やっぱり月。  
 空気が澄み、月がひとときわ美しい季節です。月は、満ちたり、欠けたりと日に日に替わっていきます。  
 今年は10月1日です。また、10月29日は、十三夜といい、この日もとても美しい月です。  
 親子で秋の空を眺めながら、最近の出来事などを話してみましょ。そんな余裕の時間が持てると、心もほっとしますね。



#### 第2弾

秋といえば、やっぱり読書。  
 文化の日を挟んで2週間が、読書週間です。良い本が広く読まれることを目的として作られたといわれています。  
 素敵な本にたくさん出会えるといいですね。



#### お願い

登園後、「しんどい」と体調不良を訴えるお子さんが見られ、「昨日、お熱が出た」と言うことがあります。降園後、発熱、おう吐、下痢などの体調の変化やけがをしたなどちょっとしたことで翌日の登園時にお知らせいただきますよう、お願いします。



#### ちょっぴり違う2歳児さんの「嫌だ」

少し落ち着いたかと思われる新型コロナウイルスですが、安佐北区の温泉施設でクラスターが発生してしまいました。感染拡大が懸念される中ですが、今年度初めての大きな行事、運動会を開催するため子どもたちと共に楽しく取り組んでいます。感染が拡大しないよう願うばかりです。

幼児クラスの子どもたちは、運動会を楽しみにしており、かけっこで1番になっても最後まで笑顔でゴール、ダンスも自信たっぷりの笑顔、その様子を見ていた小さいクラスの先生たちからたくさん拍手をもらって、さらに笑顔の花が咲いています。2歳児さんもあこがれのお兄さん、お姉さんたちを真似て、自分で「よーいどん」と言いながら、かけっこをしています。

そんな2歳児さんの中には、今、一つ成長するための大きなステップに立っている子が何人かいます。園庭では、お兄さんたちをまねてかけっこを楽しんだり、三輪車に乗ったり、砂場でごちそう作りに励んだり、笑顔いっぱい遊んでいます。しかし、「そろそろお部屋に帰ろう。」という言葉聞いたとたん、「嫌だ」、「帰らない」と逃げ回っておいかけてもらうことを楽しんだり、大型遊具の中に隠れて探してもらうことを待っている子どもがいます。自分を見てくれているのか、担任を試しているようです。ある土曜日の午後、「おやつを食べるからお椅子に座ってね。」という言葉に6人いた2歳児さんは、一人だけお椅子に座っておやつを待っていました。他の子どもたちは、「おやついらない」「まだ遊ぶ」と言って担任が声をかけても座ろうとしません。「そうか、わかった。食べなくなったらおいでね。」と言われると、おもちゃを片付けたりして、徐々に集まってきました。でもYちゃんは、おやつを食べている様子をちらちら見ながら「おやつ、いらない」と言うのです。担任が「もうすぐおやつはお片付けするけど、Yちゃんのおやつは、ここに置いておくね。」というと、Yちゃんは、「いらなくて言ったし…。でも食べたいし…」と、いろいろ考えているような様子でしたが、少しずつ寄ってきて「おやつ食べる。」と椅子に座っておやつを食べ始めました。自分で座ったことをしっかり褒めてあげると、何事もなかったかのようにおやつを食べていました。また、別の日、お部屋に入らず、廊下を走り回っ

ていたNちゃん。担任は、「お部屋に入ろう」と追いかけるのですが、うまくかわすNちゃん。そこへまたまた通りかかった私に「園長先生」と抱き着いてお部屋に入りました。おそらくNちゃんは、お部屋に入るタイミングを探していたのでしょう。2歳児さんといえども、自分で考えて自分で決定しているのです。

この2歳児さんの「嫌だ」は、1歳のころの嫌だとは少し内容が異なります。1歳ごろに見られる「嫌だ」は、少しずつ「自分」と言うものを意識し始め、「自己」を確立していく過程であり、また、思いを言葉で伝えられないため「いや」と言う言葉で、表現してしまうようです。そんな自己主張を受け止めてもらいながら、大切に大切に育ててもらった2歳児さんは、安心感と「自分は何でもできる」という自信が少しずつ育まれてきます。その自信が大きくなり、自分自身を誇らしいと感じながらも、「まわりの大人は、自分の思いを解ってくれているのか」と確かめているのかもしれない。側にいる大人は、2歳児さんの「自分で」と言いながら、自分の力を信じようと一生懸命取り組んでいる姿を受け止め、信じて待つことが大切なのだと思います。「嫌だ」は、心が順調に育まっている証拠なのです。

小さなお子さんをお持ちの方は、「えー、そんな時期が来るの?」と、不安に思われ、逆にそんな時期が過ぎてしまった保護者の方は、「そうそう、そんなこともあったよね。」と笑っておられることでしょう。「嫌だ。嫌だ!」の時期は、決していつまでも続くものではありませんが、しっかりと受け止めて対応しなくては、大きくなって、頑固さが残り、自立ができないままになってしまうこともあります。

子育てをしている時期は、楽しいことだけではなく、不安になることも、いらいらすることも多いと思いますが、それは、保護者の皆さんが一生懸命お子さんと関わっているという証拠です。「子どものいやいやは、成長していくための必要なステップなのだ」と受け止めると、不安も少なくなるものですが、お困りの時は、ひとりで悩まず、遠慮なく私たちに声をかけてください。私たちは、保護者の皆さんと語り合い、喜び合いながら感謝の気持ちを忘れず、楽しい子育てとなるようお力になりたいと思っています。

園長



5月に植えたお芋の苗は、大きくなっているかなあ?  
 たぬきさんに食べられていないかなあ?  
 とても楽しみです。  
 収穫した後は、みんなで焼き芋パーティーなどをして美味しくいただき、命について考える機会となればと思っています。



#### 子育てメッセージ

親だって しんどいときは「しんどい」って 言ってもいいんだよ

親だってひとりの人間。調子の悪いときだってありますよね。子どもに対して、完璧でなくていいんです。素直に「しんどい」って、言ってもいいんだよ。子どもは、頑張っているお父さん、お母さんのことをちゃんと見て、理解してくれています。

全国私立保育園連盟  
 子育てメッセージ

